

## 2014年3月期 決算説明会資料

1. 2014年3月期【連結】決算のポイント
2. 【連結】業績の推移
3. 【連結】損益の状況
4. 【連結】貸借対照表
5. 【連結】キャッシュ・フロー
6. 事業環境
7. 今後の事業戦略
8. 2015年3月期【連結】業績予想
9. 株主還元

### ■本資料における注意事項

この資料には、2014年5月12日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

■お問合せ先: 管理本部長 谷口 彰洋

TEL 03-6212-2811 FAX 03-6212-2826

ホームページ <http://www.hakudo.co.jp/>

# 1. 2014年3月期 【連結】決算のポイント

## 前年同期比 増収増益

### (1) 売上高は前年同期比15.4%増加

- ◆ 国内製造業の設備投資に回復傾向が見られた
- ◆ 当社の標準在庫品の売上高が、前年同期比21.2%増加した

### (2) 営業利益は前年同期比20.6%増加、 経常利益は前年同期比24.6%増加

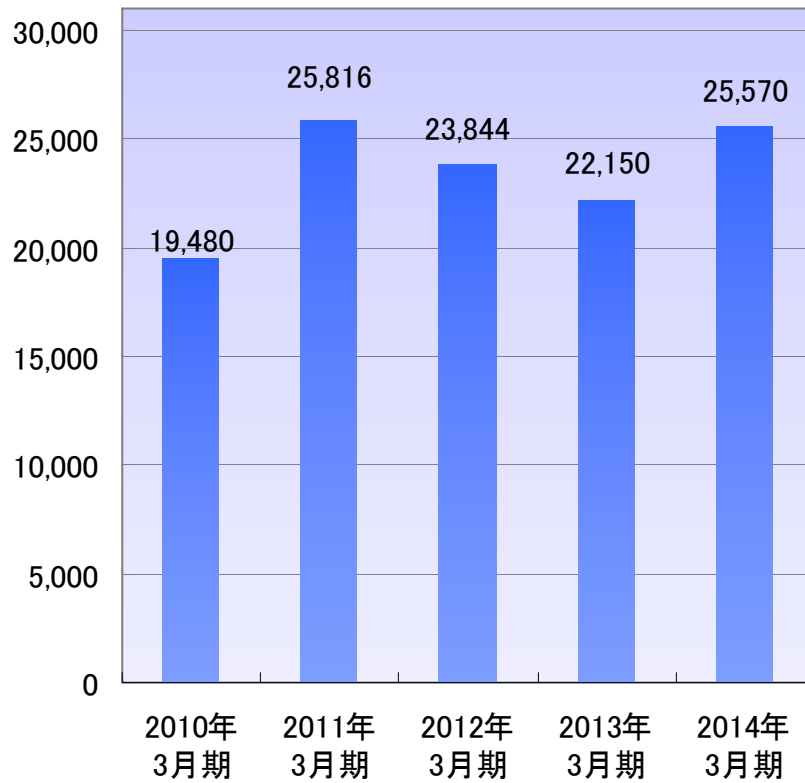
- ◆ 営業利益は、売上高の増加、経費削減、中国の連結子会社の黒字化等により増加
- ◆ 経常利益は、前述の営業利益の増加に加え、  
為替差損を含む営業外費用の減少等により増加

## 2. 【連結】業績推移

### (1) 過去5年間の売上高・営業利益・営業利益率

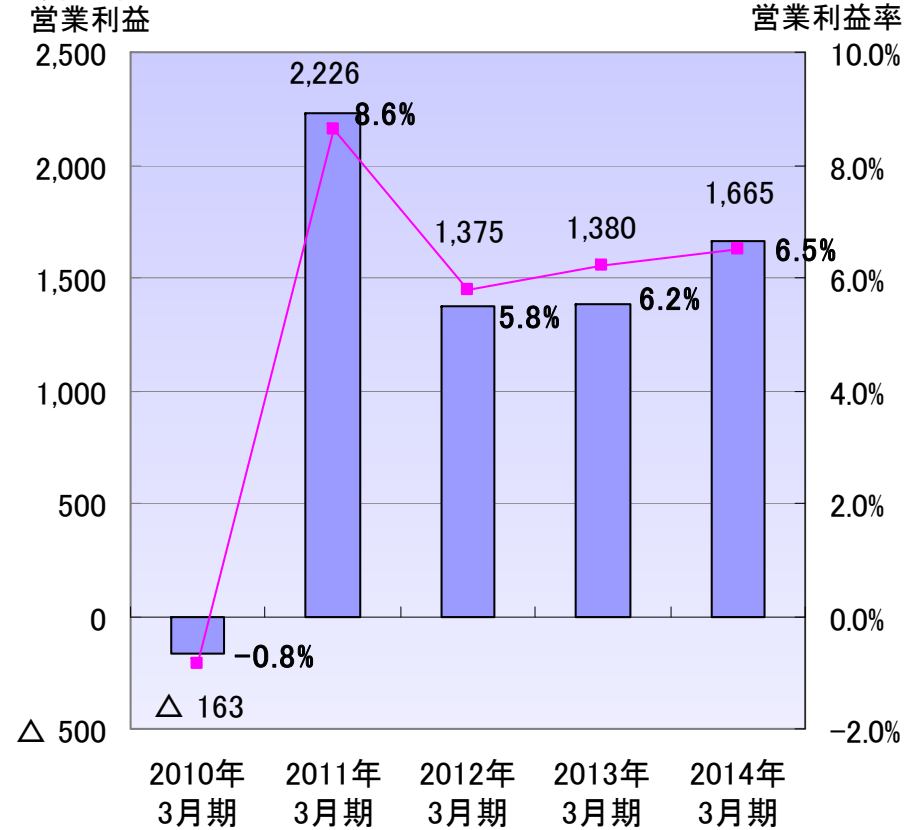
#### 売上高

(単位：百万円)



#### 営業利益・営業利益率

(単位：百万円)

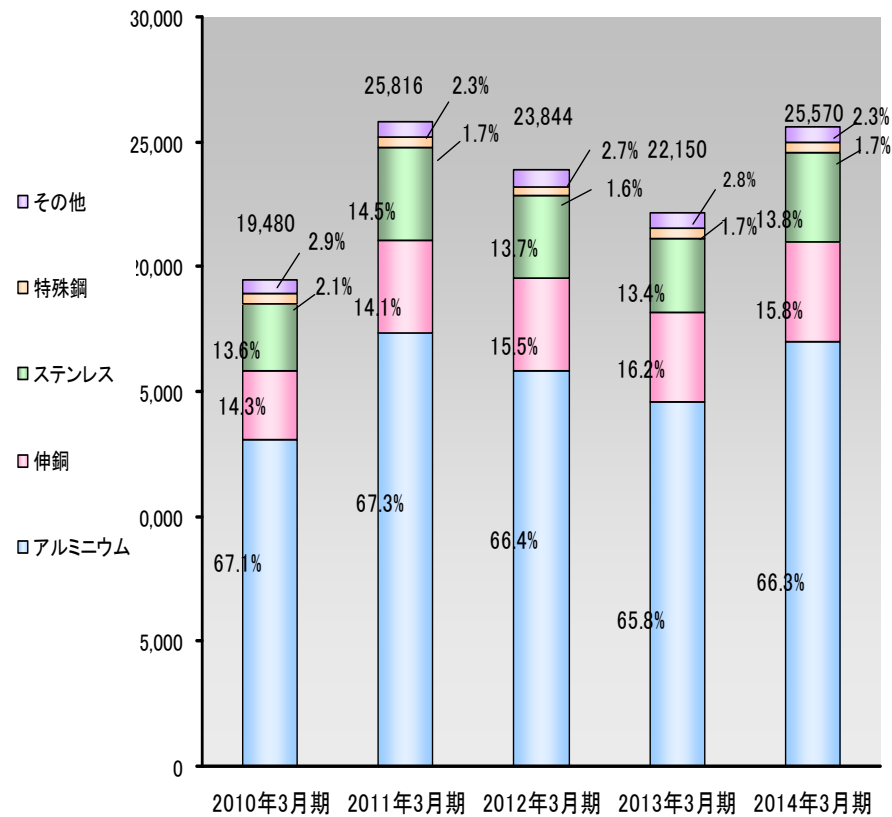


## 2. 【連結】業績推移

### (2) セグメント別過去5年間の業績推移

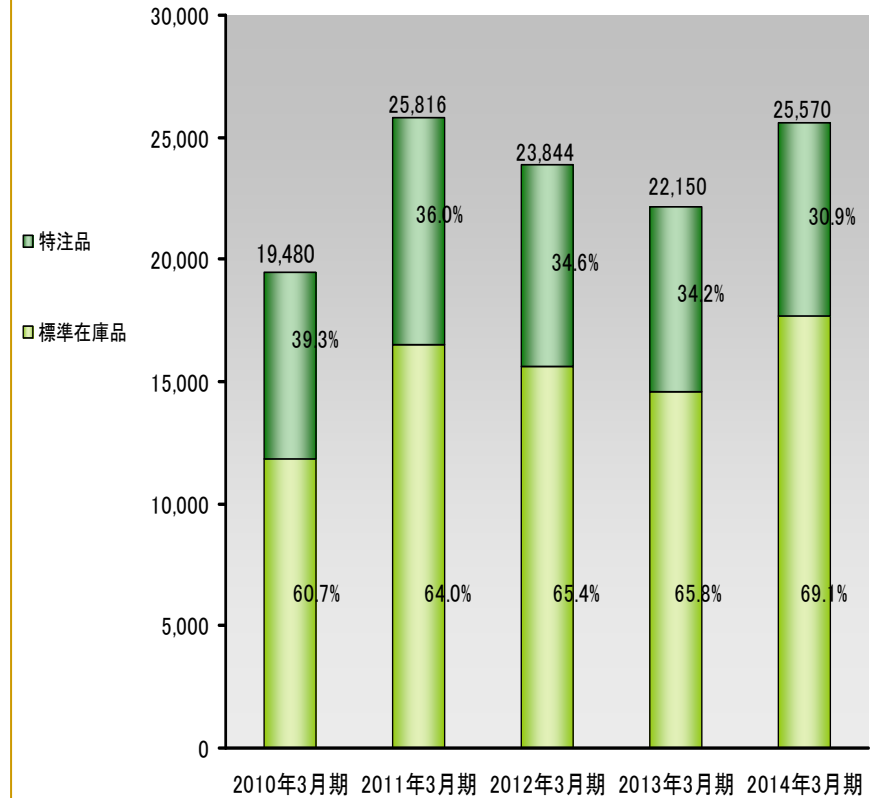
品種別

(単位：百万円)



標準在庫品・特注品別

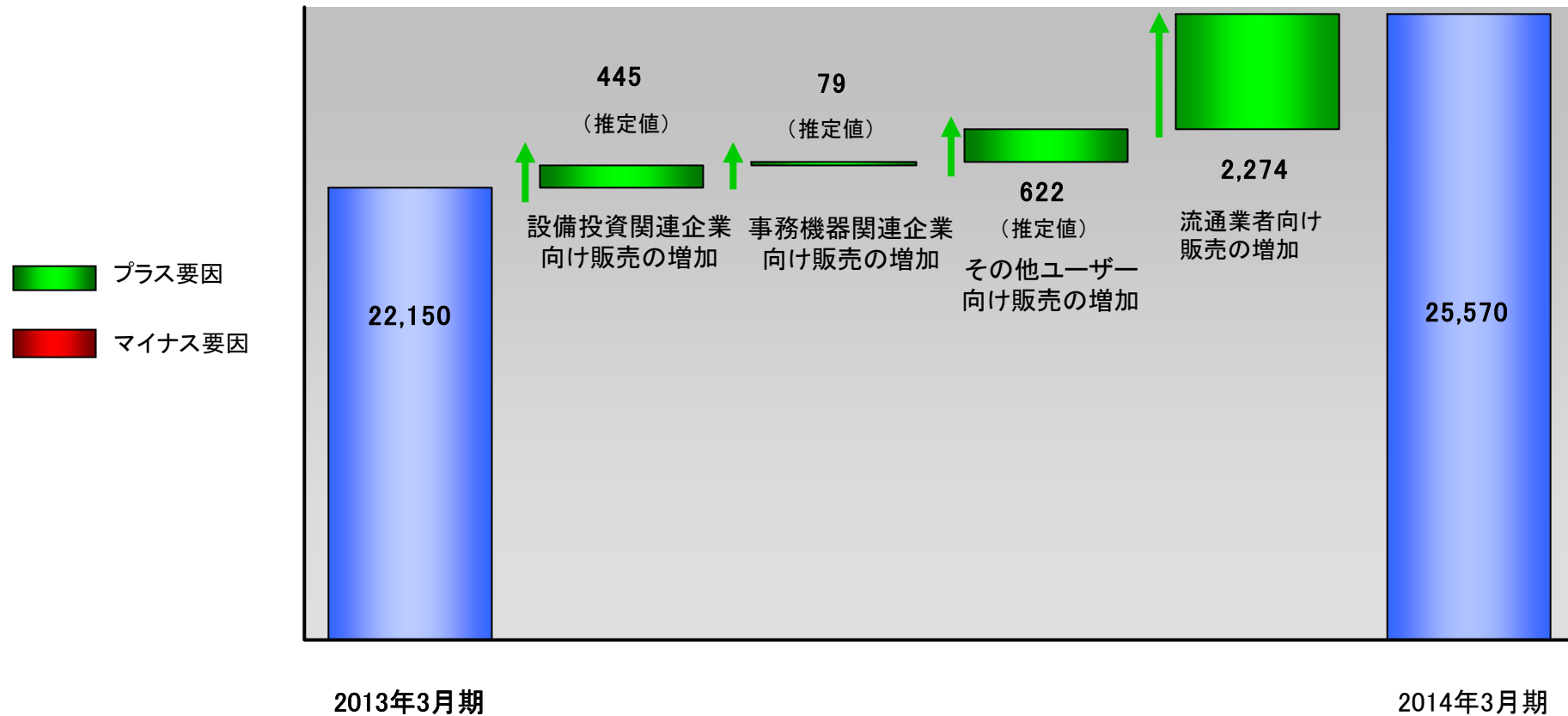
(単位：百万円)



### 3. 【連結】損益の状況

#### (1) 前期売上高と当期売上高の差異理由

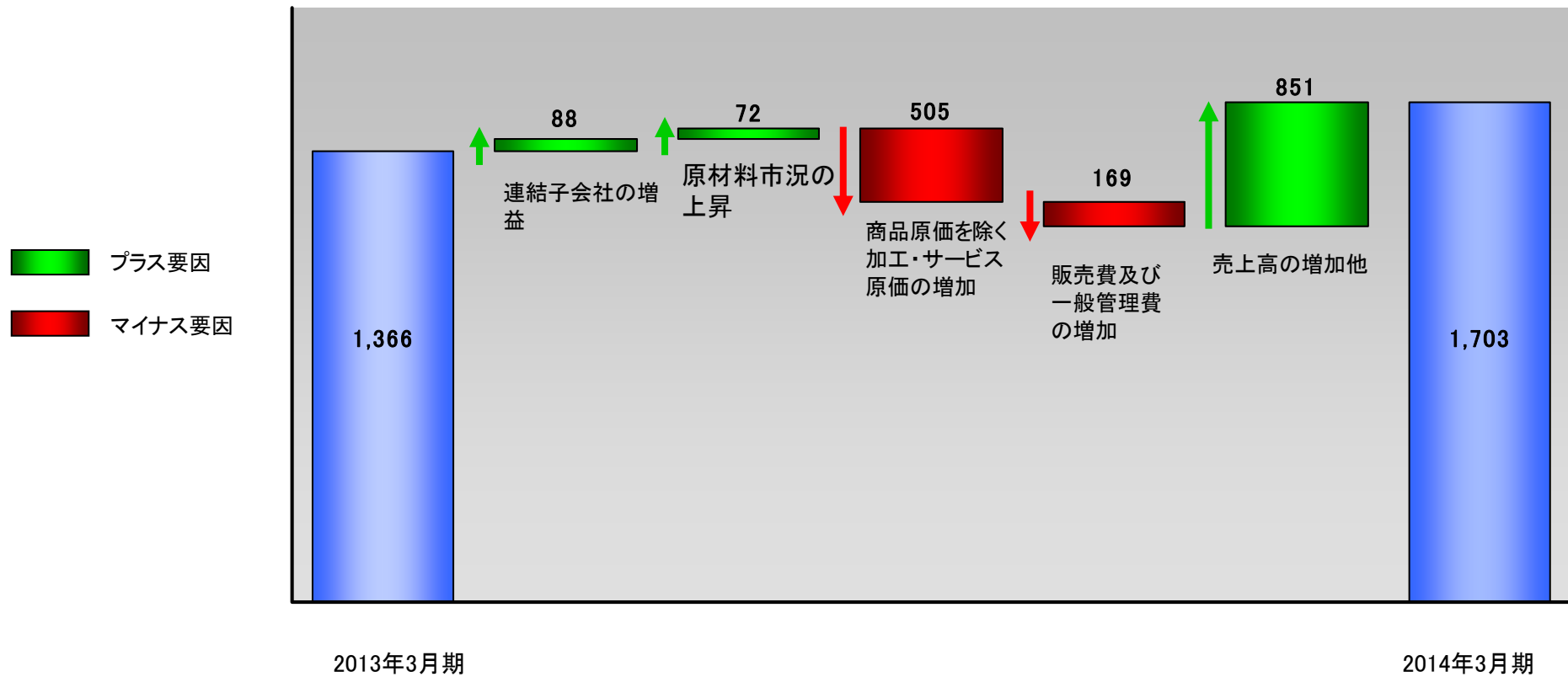
(単位：百万円)



### 3. 【連結】損益の状況

#### (2) 前期経常利益と当期経常利益の差異理由

(単位：百万円)



## 4. 【連結】貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部	2013年3月末	2014年3月末	増減	負債及び純資産の部	2013年3月末	2014年3月末	増減
<b>流動資産</b>	<b>15,901</b>	<b>17,558</b>	<b>1,657</b>	<b>負債</b>	<b>8,235</b>	<b>9,286</b>	<b>1,051</b>
現金及び預金	5,509	5,717	208	支払手形及び買掛金	7,471	8,213	742
受取手形及び売掛金	7,167	8,039	872				
棚卸資産	3,131	3,626	494				
<b>固定資産</b>	<b>5,521</b>	<b>5,677</b>	<b>156</b>	<b>純資産</b>	<b>13,186</b>	<b>13,948</b>	<b>762</b>
有形固定資産	4,722	4,915	192				
<b>資産合計</b>	<b>21,422</b>	<b>23,235</b>	<b>1,813</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>21,422</b>	<b>23,235</b>	<b>1,813</b>

### ■ 主要項目の増減要因分析

- ①流動資産 17,558百万円(前期末比 1,657百万円増加)
  - ・売上高の増加に伴う売上債権及び棚卸資産の増加
- ②固定資産 5,677百万円(前期末比 156百万円増加)
  - ・工場設備・機器の購入による有形固定資産の増加
- ③純資産 13,948百万円(前期末比 762百万円増加)
  - ・利益剰余金の増加

## 5. 【連結】キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

	2013年3月期	2014年3月期	前年同期比
営業活動による キャッシュフロー	1,329	1,271	△57
投資活動による キャッシュフロー	△175	△1,876	△1,700
財務活動による キャッシュフロー	△320	△410	△89
現金及び現金同等 物の期末残高	5,509	4,517	△991

### ■ 主要項目の増減要因分析

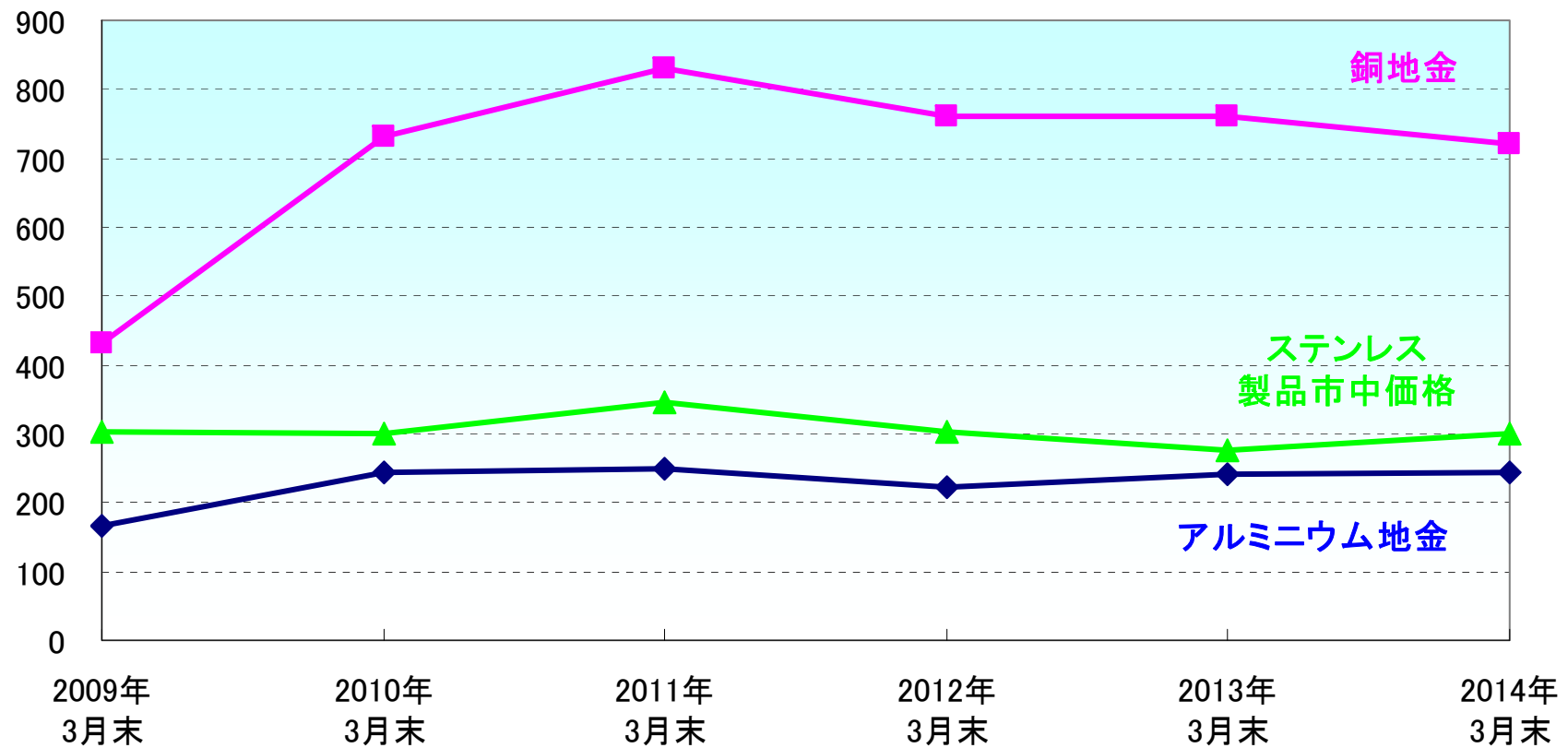
- ① 営業活動によるキャッシュフロー  
1,271百万円(前期比57百万円減少)  
・税金等調整前当期純利益の増加333百万円  
・売上高の増加に伴う売上債権、棚卸資産、仕入  
債務の増加に係る減少519百万円
- ② 投資活動によるキャッシュフロー  
△1,876百万円(前期比1,700百万円減少)  
・定期預金の増加による減少1,200百万円  
・有形固定資産の取得による支出の増加に係る  
減少364百万円
- ③ 財務活動によるキャッシュフロー  
△410百万円(前期比89百万円減少)  
・配当金支払額の増加に係る減少89百万円



## 6. 事業環境

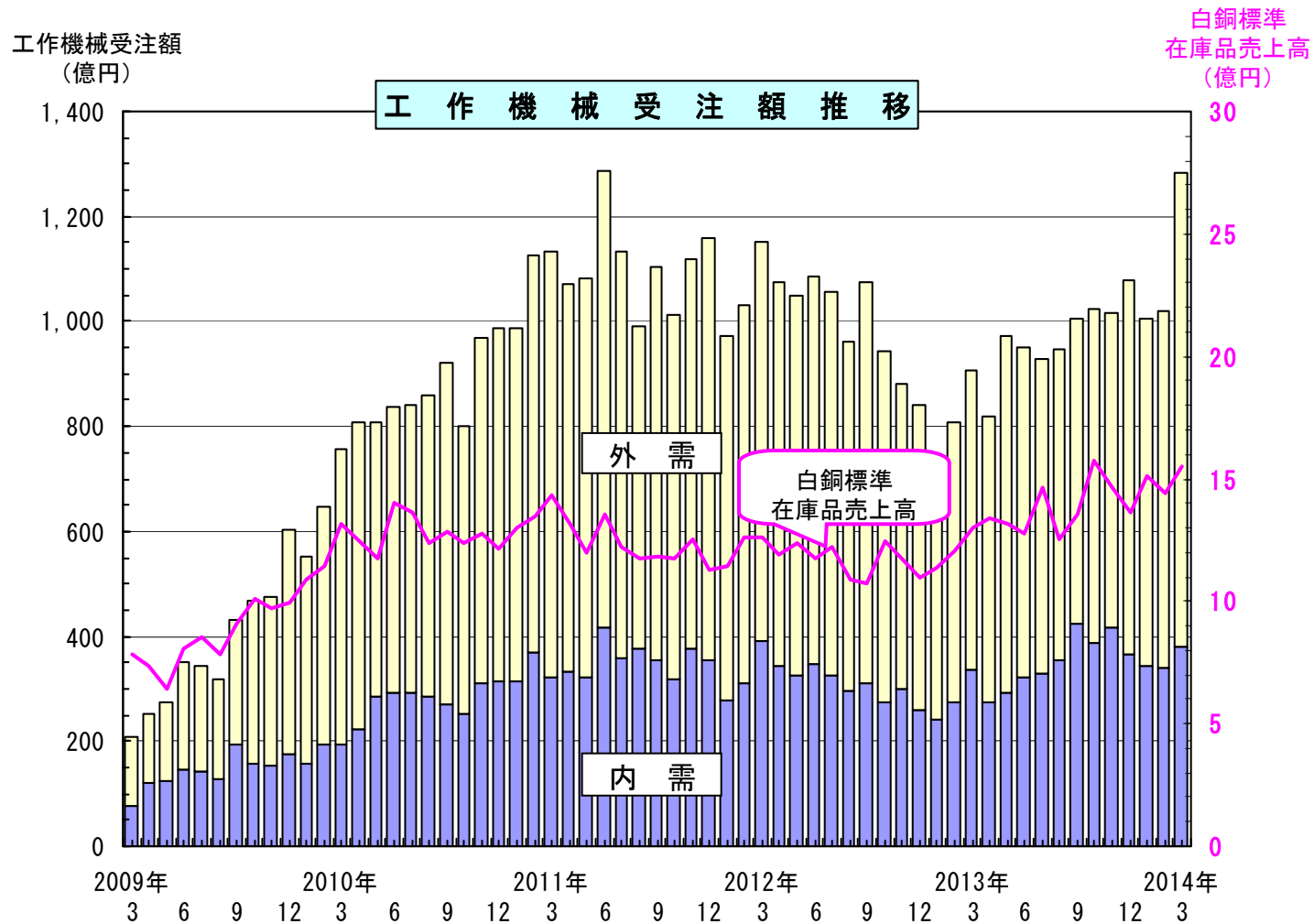
### (1) アルミニウム・銅・ステンレスの相場動向

(単位：千円/トン)



## 6. 事業環境

### (2) 工作機械の受注動向



工作機械受注統計出所：日本工作機械販売協会ホームページ (<http://www.nikkohan.or.jp/toukei/>)

## 7. 今後の事業戦略

### (1) 顧客満足度の向上と差別化によるシェアと利益率の向上

#### ① 業界トップの品質・業界トップの納期を目指し、納得の価格を実現する

##### ◆ 当社独自の品質保証と短納期

製造工程および生産設備の見直しによる、切断・加工の寸法許容差の改善と納期短縮

##### ◆ お客様センターの対応品質の向上

迅速なお見積もり回答、カタログ規格にない商品の販売、きめ細かい加工の対応

##### ◆ 納得の価格の実現

無駄な経費を削減し、販売価格を見直す

#### ② 競合との差別化を図る

##### ◆ 標準在庫品の品揃えの充実

航空機シリーズ、エコシリーズ、ハイスpekクシリーズなどの差別化商品のラインアップ化

##### ◆ 特注品の対応力向上

「お取寄せ品カタログ」の作成による特注品ラインアップの明確化

##### ◆ 「白銅ネットサービス」の更なる普及

お客様の使い易さを追求し、機能の改善を継続する

# 7. 今後の事業戦略

## (2) 海外事業の強化

- ①上海白銅精密材料有限公司の黒字化継続
- ②タイ現地法人の設立
- ③ベトナム・マレーシア・インドネシアの代理店との関係強化
- ④台湾・韓国・フィリピン・インドでの代理店の調査と開拓



## 8. 2015年3月期【連結】業績予想

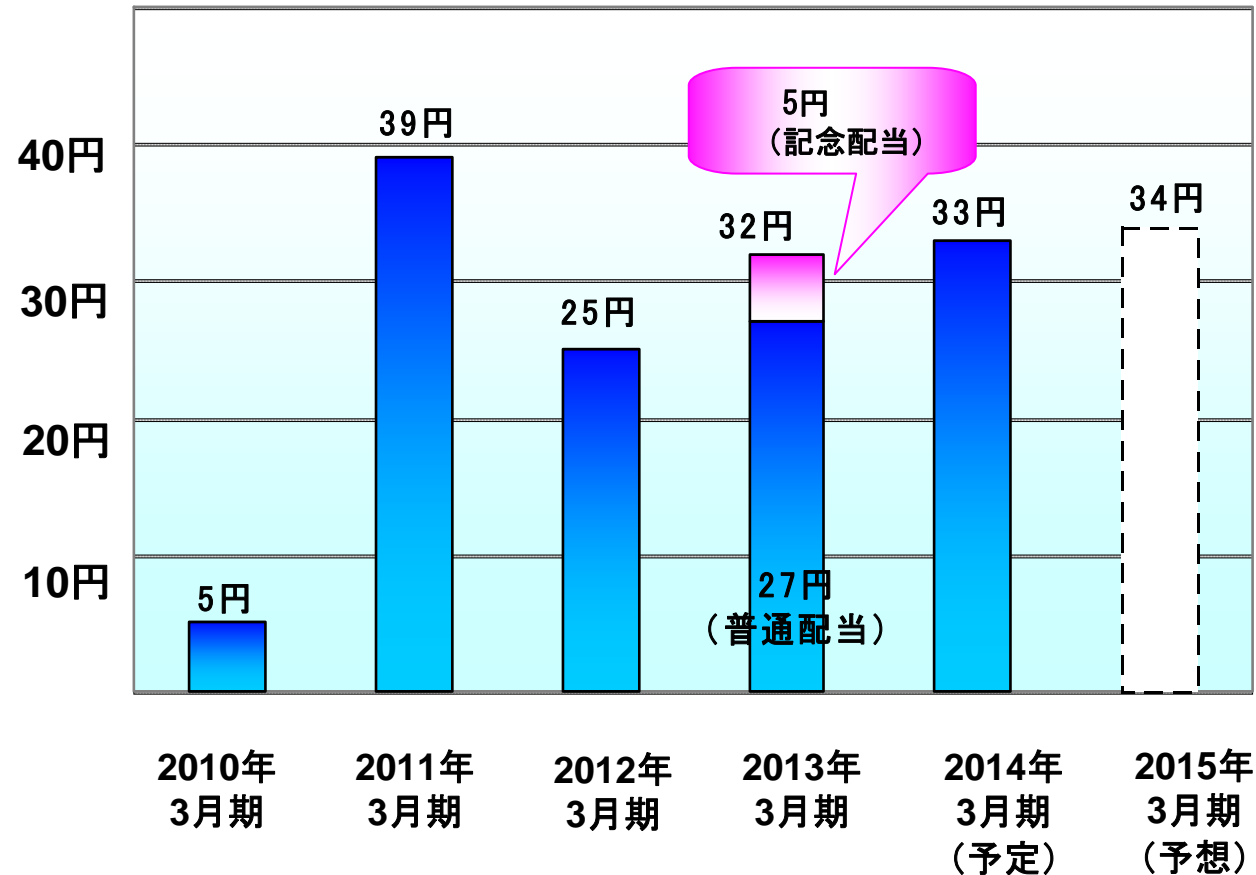
(単位：百万円)

	2014年3月期 (実績)	2015年3月期 (予想)※	前年同期比 増減	増減率
売上高	25,570	27,000	1,430	5.6%
営業利益	1,665	1,720	55	3.3%
経常利益	1,703	1,770	67	3.9%
当期純利益	1,060	1,100	40	3.8%

※2014年5月12日発表

## 9. 株主還元

### 1株当たり配当金の推移



2013年3月期の配当金は、創業80周年記念として5円の記念配当を実施致しました。